



明治のガス燈から現代の輝き



東京のガス燈
150年記念展
Part. 2

2024
10.5 {土}
12.25 {水}

但し10.14、11.4(月・祝/振休)は開館
翌10.15、11.5(火)は休館

10:00 ~ 17:00 / 月曜休館 / 入場無料
会場: ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー

ガスミュージアム
GAS MUSEUM がす資料館

CHRONICLE

「明治のガス燈から現代の輝き」

銀座 クロニクル

10.5_{土}

12.25_{水}

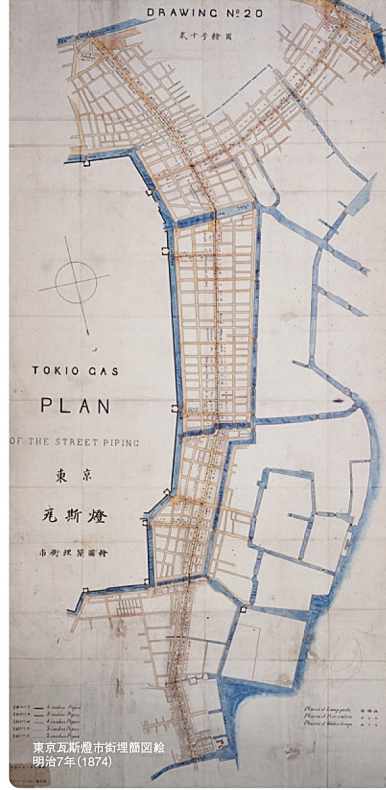
但し10.14、11.4(月・祝/振休)は開館
翌10.15、11.5(火)は休館



東京名所図会 銀座通り煉瓦造
歌川広重(三代) 明治12年(1879)



東京名勝図会 金杉橋より芝浦の鉄道
歌川広重(三代) 年不明



TOKIO GAS
PLAN
OF THE STREET PIPING
東京
瓦斯燈
市街設置圖録
明治7年(1874)

明治7年(1874)12月18日、銀座煉瓦街で初めてガス燈が灯りました。この歴史的な出来事から、東京でのガス事業が150年を迎えます。銀座は、文明開化の象徴として、文化と繁華が交差する場所であり、ガス燈が東京の街に輝きをもたらしました。遡ること明治5年(1872)、後に「銀座大火」と呼ばれる大火災が銀座を襲い、一帯を焼き尽くしました。しかしこれが新しい銀座が誕生する契機となりました。この地は当時の鉄道の起点であり、明治東京の表玄関である新橋に近いので、政府はこの地を煉瓦造りの西洋風の燃不燃都市として復興することを決定しました。明治5年(1872)8月より、京橋側から大通りに沿って煉瓦造りの漆喰仕上げの建物の建設が始まり、通りは車道と歩道が分離され、街路樹も整備されました。そして明治7年(1874)12月18日にガス街灯が設置されたことで、銀座煉瓦街の街並みが整いました。この西洋風の都市風景は、工事が進むにつれて計画が見直され、明治10年(1877)には街全体が完成しました。当初は払い下げ価格が高く、空きスペースも多く見られましたが、やがて新聞各社の建物や時計、輸入品を扱う商店、開化文物を製造販売する店舗が次々と並び、銀座は情報や文化の発信地として、文明開化のショーウィンドウとなりました。関東大震災や戦争の被害を乗り越えた銀座は、現在でも日本を代表する繁華街として、国内外の多くの人々を魅了し続けています。

「銀座クロニクル」展では、「明治のガス燈から現代の輝き」をテーマに、明治時代の銀座の様子を描いた錦絵と現在の風景を対比して紹介します。ぜひこの機会に、銀座の魅力と東京の進化を堪能してください。



東京名所図会 銀座通
歌川広重(三代) 明治18年(1885)



現在の銀座5丁目付近の風景

表掲載画像：[左上]東京名所之内 銀座通煉瓦造鉄道馬車往復図 歌川広重(三代) 明治15年(1882)、[左中]第一大区従京橋新橋芝浦石通商家番高貴賤数澤盛景 歌川國輝(二代) 明治6年(1873)、[左下]東京名所 銀座新橋乃因 巨泉 明治31年(1898)、[右上]現在の銀座4丁目交差点付近の風景、[右中]東京名所 京橋銀座通里煉瓦石瓦新燈景之図 歌川広重(三代) 明治13年(1880)



新橋駅
小林清親 明治14年(1881)



現在の復元された新橋駅の風景



ガスミュージアム GAS MUSEUM がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25
TEL 042-342-1715
開館時間 10:00-17:00
月曜休館 入場無料



<https://www.gasmuseum.jp/>

公式Instagram @gas.museum

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21]錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21]錦城高校経由
…東久留米駅西口行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分

徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)

車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

